

令和4年12月 豪雪被害時の高齢者支援に関するレポート

No.	被害	状況に伴う現象	危険性・困りごと	実際の被害と対応
1	長引く停電	<p>①暖房が使えず</p> <p>②照明がつかない</p> <p>③電気を使用する福祉用具が動作しない</p> <p>④テレビが見れない</p> <p>⑤携帯の電池切れ、充電できない</p> <p>⑥家電品が使用できない</p> <p>⑦介護事業所の休業</p> <p>⑧復旧の先が見えない。</p>	<p>①独居、高齢者世帯は特に低体温の危険性。ストーブ設置場所、扱いの悪さに伴う火災の危険性。</p> <p>②転倒、転落、時間の感覚の低下、無気力の進行、活動性の低下・ろうそくで明かりを取ることによる火災の危険性（特に独居、高齢者世帯で）。</p> <p>③電動ベッドが起きたままだと、血圧低下の恐れ、褥瘡の発生。</p> <p>④情報源が少ない、ない。</p> <p>⑤連絡がつかない。緊急時の連絡が難しい。安否確認しにくい。SNSなどの情報源が途絶える。</p> <p>⑥炊飯できない（ガスで炊く人もいるが）洗濯できず失禁の汚れものがたまる。家族のストレス増大。</p> <p>⑦活動性の低下、意欲低下、時間の感覚の低下、せん妄症状の悪化、運動機能低下。家族の介護ストレス増大など。</p> <p>⑧家族のいら立ち、ストレス、介護うつ状態。利用者のせん妄症状、易怒、昼夜逆転など。 ▼ケアマネのストレス、業務負担の極端な増加。システムが使えなくなった。</p>	<p>①安否確認訪問実施。独居、高齢者世帯で「寒い！」の訴え。使い捨てカイロの購入代行、お届け、貼付の支援、着衣の介助、ストーブ周囲の整理整頓と注意喚起。佐渡市に使い捨てカイロの支給を要請⇒独居、高齢者世帯で佐渡市より支給開始。市で灯油の配達も実施。ヘルパーがあんかの準備介助した。親戚さんがポータブル発電機を持ってきてくれファンヒーターをつけた世帯もある。</p> <p>②認知症高齢者の転落事故1件あり。ローソク使用の高齢者世帯では居室が乱雑な世帯もあり危険。ケアマネが本人の了承を得てホームセンターで電池式ランタンを購入代行し届けた。親戚さんが電池式ランタンを貸してくれた世帯もあり。</p> <p>③福祉用具貸与事業所がポータブル電源を持って訪問し、ベッドをフラットに操作する。血圧低下による体調悪化事例はない。エアマットの空気圧低下あり、シーツなどの燃れが発生。除圧マットに機種変更したケースもあり。</p> <p>④ケアマネが訪問時地域情報を提供。</p> <p>⑤訪問し安否確認実施。訪問時に支援する内容が多く半日に1～2件がやっと。デイサービスセンターやすらぎ職員が安否確認訪問実施。地域の民生委員（一部）と情報交換した。携帯電池切れで通話もできず。ケアマネが携帯電話の充電器を貸出したケース有。車のシガーソケットにつなぐ充電ケーブルの紹介など実施。</p> <p>⑥モフモフは混んでおりなかなか洗濯できず。地域のクリーニング店が協力（有料）してくれたケースもある。家族にケアマネがガスで炊飯する方法を指導した。ケアマネが非常食の調理支援した。（高齢者は理解が難しくできないケース多い）</p> <p>⑦暗いため時間の感覚の低下、せん妄症状出現し家族が対応に困った。ケアプラン変更し営業しているデイの利用調整。ショート調整。</p> <p>⑧日を追うごとに家族のストレス相談増加。電話、訪問、来所相談実施。デイサービス等の調整（プラン変更） ▼負担が多いが仕方がない。忙しすぎて地域のケアマネと情報交換できず。</p>

2	断水	①飲料水がない。調理できない。 ②洗顔・手洗い・入浴できない。トイレが流せない。洗濯できない。 ③水道管破裂	①脱水や低栄養。 ②清潔保持できない。感染症対策できない。 ③故障、水漏れ	①佐渡市が飲料水を届ける。事業所で水を準備し配達。脱水、欠食はない。独居、高齢者世帯への非常食の配布があったが調理の仕方がわからずケアマネやヘルパーが支援。 ②休業していないデイサービスの利用調整⇒ケアプラン変更。家族は無料入浴の利用など。市が水を届けてくれた。 洗濯や掃除ができず臭いや汚れで家族のストレス増大。コインランドリーの利用（混んでいて使えず）地域のクリーニング店の協力（有料）あった。 ③水道管が凍結しているにもかかわらずボイラーをつけ、屋内配管が破裂し廊下に湯が噴出した。親族に連絡し処理と修理を依頼してもらった。
3	倒木・除雪困難	①受診ができない。 ②サービス利用時の送迎が利用できない。又は困難。 ③安否確認訪問は徒歩で実施。 ④買い物困難	①定期的に服用している薬が無くなる。 ②介護サービスの利用ができない。 ③安否確認に時間がかかる。二次被害の恐れ。 ④低栄養の恐れ。	①薬を切らしたケースあり。家族受診、定期受診日程変更してもらった。ケアマネが受診代行し薬を届ける。 ②ショートの入所期間の延長。送迎職員の人数を増やして対応。送迎職員と地域住民で除雪し送迎。親族が来て除雪した世帯もあり。 ③市や民生委員に状況を聞き対応した。訪問日にホワイトアウトの状態あり複数のスタッフで訪問。危険なため天候を見て訪問日時を決めるようにした。デイの休業を伝える手段がないケース有。ケアマネが雪の中徒歩で伝えに行った。 ④食は確保できた。社協のデイサービス職員が買い物支援をしたり、親戚さんの差し入れがあったケースもある。
4	電話線断線	①電話不通	①緊急時の連絡、安否確認できず。	①停電より被害が長期になっている。1月に入っても電話が不通の世帯あり。携帯電話がない世帯では連絡手段がなく訪問するしか確認方法がない。親戚が安否確認の協力をしてくれた世帯あり。

【良かった点】

- ・行政サービスセンターは地域の状況をよく理解しており情報を下さる。連携しやすい。
- ・やすらぎは停電で休業になったが、その間安否確認や買い物支援など、社協として利用者支援をしてくれた。情報連携もしやすい。
- ・サービス事業所と地域住民の連携による送迎時などの除雪協力があった。
- ・各事業所、法人で可能な支援、インフォーマルな隠れた資源も多いことが分かった。災害時の資源の確認、開発、周知などして行く必要がある。

【課題】

- ・市、民生委員、ケアマネと様々な支援者が安否確認訪問する世帯と、安否確認がない世帯があるようだ。連携し効率よく安否確認したい。
- ・停電、ライフラインストップにより地域住民、事業所が情報入手する手段が激減する。情報伝達の方法を検討したほうが良い。
- ・市、民生委員、居宅介護支援の連携がうまくとれず、効率よい安否確認とならなかったのではないかな。
- ・独居、高齢者世帯ばかりでなく、家族同居世帯でも緊急性が高いケースがある。安否確認訪問の優先度を見直す必要がある。
- ・ケアプランには「個別支援計画」はある程度あるが、災害時の一時対策程度であり長期にわたる支援計画があるわけではない。その点は市の災害対策とうまくリンクしていく必要を感じる。

・全体の安否確認をしてくださいと市より要請があるが、電話も不通になり訪問しか安否確認の手段が無いことも多く、効率よく安否確認はできない。ケアマネジャーが安否確認訪問をする際は「困りごと」に対する対応や非常時のアセスメントも実施しており、訪問そのものに時間がかかる。半日に1件しか行けなかったケースもある。

・民生委員も安否確認訪問をしているが、不在時ショート利用中なのかどうかかわからないと言われた。担当ケアマネジャーが誰なのかもわからない。民生委員と連携が少ないと感じる。

・非常食の支給があるが、高齢者は非常食の調理の仕方がわからず、結局ケアマネが調理することも多かった。

・停電、断水が長期にわたると失禁する高齢者の洗濯の問題が発生。衛生管理やにおいの問題、介護者のストレスなどの要因になる。

・停電が長期になると認知症高齢者のせん妄症状の悪化、介護者の負担やストレス増につながっている。

【事業所の課題】

・停電でシステムが使用できない。ノートパソコンとスマホなどを使用しテザリングで操作するなど災害時の対策を日頃より検討しておく必要性あり。

・市、地域のサービス事業所、民生委員などとタイムリーな情報共有をしていく必要がある。

・今回より新たなケアプラン作成時は「長期の停電」も災害対策の項目に入れるようにした。

・職員も被災した中、リスク回避のための支援やケアプラン変更、安否確認など業務負担が劇的に増大する。職員に対する支援の必要性もある。（報告に係る事務負担をできる限り軽減させる方法を検討するなど）負担をできるだけ軽減してください。）

・天気予報、降雪予報をもっと重視し、事前対策（支援困難が予想される利用者のショート入所やサービス利用など）しておく必要があった。

・新型コロナ感染拡大によるサービス利用困難も重なり緊急のショート利用が難しかった。

・被災した施設（スマイル）は調理ができず非常食対応。暖房などの環境も整えにくく緊急の受け入れが難しい。

【今回役立ったインフォーマルな地域資源】

・ポータブル電源（福祉用具の操作など） ふれあい館 24時間対応可能

▼除雪無し、夜間、吹雪、倒木で通行困難など訪問できない場合もあり。

・洗濯 ふれあい館南佐渡 有料サービス

クリーニング店で協力（有料）してくれたケース もふもふ（6～21時営業）⇒災害時は時間延長できないか。

・民間の炊き出し ・親戚さんからの差し入れ

・地域住民の協力による通路の除雪作業（車が入らない箇所の除雪など）

・近隣や親戚さんによる照明、電源の協力

・近隣や親戚さんによる安否確認 ・民生委員の安否確認

・給水・お届け（地域の事業所）

【あるといいな】

・停電、断水、通行止めの詳しい情報、地域資源情報を迅速に知る情報連携ツール。

・ホームセンター、ドラッグストアの災害関連商品情報（あるかないか）。

・発電機やポータブル電源の台数がもう少し欲しい。

・洗濯の資源（失禁した衣類や寝具を洗ってくれるクリーニング店、コインランドリーの時間延長、災害時の洗濯サービスをしてくれる事業所）